



NETWORKING NEWS LETTER



CONTENTS

[特集]地球と一緒に! ...つくる人TALK

希望って身近にある!

.....ラパンノワールくろうさぎ
山田ナオミさん

手づくりのお豆腐から

.....大豆工房みや 宮永優美さん

[トピック&ニュース]

3.11見えない風景

小原一真写真展 開催のご報告

オーガニックショー

開催概要が決定!

[視点]その7

オーガニックショーに集まろう

[INFORMATION]

事務局からのお知らせ

●12月の活動予定

●活動短報

オーガニックショー 開催概要が決まりました! ...2014年2月22(土)/中野サンプラザ(東京)

オーガニックは、原発に象徴される大量生産・大量流通・大量消費・大量廃棄社会へのオルタナティブとしてスタートしました。オーガニックには、基準や生産様式だけではない、みんなで共有していきたい本来の価値があるはずです。生産者・消費者・流通販売者が一緒に考え、繋がって、さらなる一歩を踏み出したい。それが「オーガニックショー ポラン広場東京 2014」です。

●私たちは東北を忘れない (11:00~17:30)

はみあ

稲澤美穂子イラスト展

「飛流」~「奇跡の海 三陸 ばあの海」

●トークショー『三陸 海のまなざし』(12:00~)

朝日田卓(北里大学海洋生命科学部教授)<予定>

●記念講演(14:00~15:30)

岩手陸前高田 八木澤商店八代目

河野和義会長 大いに語る

「地元学」の視点を交えて...陸前高田の復興と地元地域の状況

震災前の陸前高田/震災・津波/.....の映像と共に

八木澤商店 200年~ 東日本大震災・大津波から醤油の生命が守られた

私たちは取引をしているのではない、

取組みをしているのです

ポラン広場東京に集う生産・製造者と流通販売、そして消費者に向けて

●映画上映&ミニトーク

(15:45~17:30)

在来作物と種を守り継ぐ人々の物語

よみがえりのレシビ

*上映に引き続き渡辺智史監督ミニトーク

つくる人&食べる人が出会う

オーガニックな食と暮らし

展示/直売/ワークショップ (11:00~17:30)

●ファーマーズガーデン

米、穀類、野菜、果物、調味料、発酵食品を中心にした
生産・製造者の直売市場

●食と暮らし、手仕事の天然市場

オーガニックコスメ・オーガニックコットン・食品の
生産・製造者による直売市場とワークショップ

●キッズウィークエンド@青梅~福島子ども保養ツアー写真展

※ワークショップ「自然の素材で筆と絵の具をつくり、
みんなで大きな布に食べ物や生きものの絵を描こう」

企画: 青梅ポンプの会

2014年2月22日はオーガニックショーへ!



つくる。つながる。
つたえる!

12
NOVEMBER
2013 月号

オーガニックな
ヒト・コト・モノに
出会う日

オーガニックショー
ポラン広場東京 2014

日時 2014年2月22日(土)

11:00~17:30

場所 中野サンプラザ8F 研修室ほか
東京都中野区中野4-1-1

JR中央線・地下鉄東西線中野北口徒歩1分

入場 無料 (一部有料企画あり)

主催 NPO法人ポラン広場東京

ポラン広場東京事務局

TEL0428-22-6821

E-mail office@polano.org

詳細情報 www.polano.org/



地球と一緒に！…つくる人TALK [その4]

希望って身近にある！

…ラパンノワールくろうさぎ 山田ナオミさん（埼玉県秩父市）

●秩父にやってきた島のパン屋さん

私たちが奄美大島に移住した当時、島は石油基地誘致の是非で意見が激しく対立していました。島で暮らせるようになったのも、反対派の方々と仲良くさせていただいたご縁でした。以来、畑を耕し、地元の漁師さんと一緒に漁をしたりと、ほぼ半農半漁的な、ほとんどお金を使わないような暮らしをしていたんです。パンも焼きました。

自家種天然酵母のパン屋を始めたのが91年。島にはアマミノクロウサギという、国の特別天然記念物になったウサギがいるんですが、か弱くて、そういうウサギも生きていける世界でありたいと願って、パン屋の名前に使わせてもらったんです。

奄美のすももから酵母を起こして、島で採れる椎の実を入れたり。パンが焼けたら港まで1時間半かけて運んで船に積みみたい毎日常。夏はパンづくりはお休みして、共同所有の船で漁に出て…。

島から戻ってきたのが95年。自己流だったパンづくりの巾をもっと広げようと、パートナーの新井孝男は、昼間パン屋さんで働きながら4年間、製菓学校の夜間部でみっちり勉強しました。そこでパンのコンテストがあって、いまもつくっている「うずまきごまレーズン」が賞をいただいたんです。一般のコンテストで「国産小麦・自家培養の天然酵母」という信念を通していただいた賞でしたから、自信もついたし、すごくうれしかった。



山田ナオミさんと、パートナーの新井孝男さん

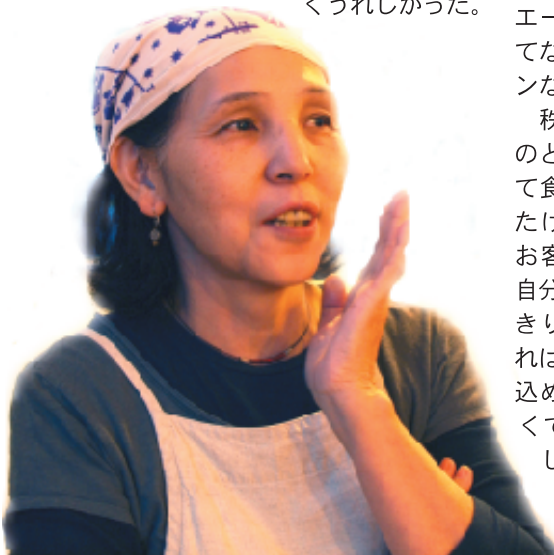
●天然酵母のパンづくり

秩父のお店を始めたのが99年11月ですから、15年目になりました。香ばしい小麦のぶーんとくるようないい香りがするパンっていったらいいかな？



あまり酸っぱくない感じです。国産小麦と自家培養の天然酵母のパン。有機や自然農法のものなど、厳選しているつもりです。フィリング（パンの中に入れるあんとか）も全部手づくり、可能な限り有機のものを使っています。いくら素材が良くてもやっぱりおいしくないよね、というのはあります。奄美では7種類、硬いタイプだけでしたが、今は50種類ぐらい。ごはんを炊いて麴を醸してつくる「酒種パン」のバリエーションが多くて、よそであまりやってないと思います。クグロフとか、菓子パンなんか酒種でつくっているんですよ。

秩父はもともとおまんじゅう文化（笑）のところで、最初はハード系なんて、硬くて食べられないよなんて言われたけど、今では求めて来られるお客さんも増えました。新井は自分がやりたいパンがすごくはっきりしている人間で、自分がこれと思ったパンは、すぐに引っ込めないでつくり続け、売れなくても、売り続ける。するとじわじわ売れ出すんです。何年もかかって売れ出すパンというのがあるんですね。



ラパンはうさぎ、ノワールは黒。店名の「ラパンノワール」は、フランス語でクロウサギのこと。島から秩父に戻ってきたときにつけました。私たち1975年、奄美大島での暮らしをスタートしたんです…こう話すのは、自家培養の天然酵母のパン屋さん、「ラパンノワールくろうさぎ」山田ナオミさんです

●身近なところから変えていこう！ ……ネットワーキングふたたび

地元の仲間と「原発とめよう秩父人！」という取り組みを進めています。カフェで月に2回定例会を開いて、反原発のアクションや、エネルギーの自給の勉強、クラフトフェアをやったり。お店の軒先で週1回、「木曜うさぎ市」と銘打って有機野菜を売ってたら人気が出て、自然食品店が誕生したり…。

イベントをやると、ポランさんはチラシをまいてくれたり、必ず協力してくれます。結びつきをととても大事にしてくれて。すごく信頼関係があるというか。互いが知り合うことに関心のないような流通もあるのわかります。

そうそう、うちで働いていた子が町会議員選に立候補したんです。3.11も、実は自分たちが加害者だったということに気づいて、暮らしや地域のあり方、そして脱原発を訴えて、なんと当選！地域も変わろうとしているという希望。つながっていけば何か変わる。上から変えようとするとうと絶望してしまうけれど、身近なところから、できることを変えていくのが一番希望をもてる。希望って身近にあるんだと実感できて、すごくうれしかった！

右肩上がりじゃなきゃ、という思い込みがだめなんじゃないかな。大きくなるんじゃないかと、これからはもっと、お客さんや、地域の仲間も含めて、直接に対話ができるようなことを大事にしていきたい。311のことで、くろうさぎはこう考えるというメッセージも発信したんです。そういうことにもっと力を入れたいというのもあるんです。秩父もいいところ。ぜひ遊びに来てもらえたらと思います。



「朝起きて食べるのが喜びです！って言われたら、それはパン屋冥利に尽きます。身近なお付き合いを大切にしたい」と話すナオミさん。お店の窓辺には、お客さんから贈られた、手のひらほどのお店のミニチュアが大切に飾られていました



手づくりのお豆腐から

…大豆工房みや 宮永優美さん（埼玉県越生町）

お豆腐でおなじみの「大豆工房みや」の宮永優美さんは、出産をきっかけに、子どもの身体は自分が食べたものでできると思うようになり、子どもに安心安全なものと、共同購入や自然食に没頭しました。ところが、優美さんがまだ20代の頃、生後間もないお子さんが急性の感染症に罹ってしまうのです。奇跡的に一命は取り留めたものの、薬漬けの現代医療に疑問を感じ、投薬を断ります。子どもの身体に良いものをと、必死で悩んだのだそうです。



■固〜いお豆腐への思い

……原点は手づくりにありました

そんなある時、野菜をつくっているおじいさんの援農に行ったら、お礼にと一袋の大豆をいただきました。

「昔はなあ、みんな田や畑のあぜ道に大豆を植えていたもんだ。農薬や化学肥料を使わなくても良く穫れた。それぞれの家で味噌を自給し、お祭りには寄り合って豆腐をつくっていたんだよ……」

お豆腐は離乳食にもいいしと、優美さんは見よう見まねのお豆腐作りにチャレンジ。おじいさんからいただいた大豆が、カッチカチに固い、3丁のお豆腐になりました。

この固いお豆腐、最初に食べたお友達からは「昔食べた懐かしい味がする」と意外にも好評だったのです。そこから大豆工房みやのお豆腐づくりがはじまりました。まだ海水にがりだけのお豆腐は少なかった頃。台所で離乳食用に、そしてお友達用にと始まったお豆腐づくりは、「なんだかんだでクチコミでご注文いただくようになって。赤ちゃんをおんぶしながら、お豆腐づくりをしていました。手揚げのフライヤーでカタンカタンと油揚げを揚げて」……。

大豆工房みやの看板商品「木綿豆腐」は、こうして誕生しました。その固さは、大豆の使用量が一般のものより多い、崩しを細かくするのでキメが詰まってくなどが理由だそうですが、歯ごたえがあって、しつこくなく、大豆の味わいがしっかりわかる感じ。柔らかく、コク味を強調しがちな今ふうのお豆腐にはない歯切れの良さが人気を呼んでいます。

「固いのしかできないんです(笑)。いまだにおいしい豆腐というのが、どういうものなのか、よくわからないんです。かっこよさとか、味を求めているなくて。この大豆と



木綿豆腐はそのままサイコロに切って、ぎゅっと詰まったおいしさを楽しめます

この水と海水にがりで作りました、それだけのものをお届けしたい。固いお豆腐は、私がお豆腐をつくった原点。しっかり噛んでお豆腐を味わう感じを大切にしていきたい」

■ていねいな暮らし

……世代を超えて、在来大豆

この滋味に富んだ味わいは、大豆の品種も関係しています。大豆工房みやでは、地元埼玉県産の在来大豆にも力を入れているのです。

埼玉県は、貴重な大豆の在来品種が多く残っている地域。秩父地方の在来種で甘みが強い「白光(はっこう)」や、沢山とれて借金がなくなると名づけられた「借金なし」などを原料に取り入れています。

「豆自体の個性がすごくあって、香りがぜんぜん違うというか、個性的でおいしい。絶滅してしまうかもしれない希少なものである、農家さんにつくり続けてもらいたいというのがあります」「時代に合わせて変わっていくつもりはないんですが、若い人たちが豆腐を食べなくなるよりは食べてもらったほうがい



(↑)中央が宮永優美さん。スタッフの羽生さん(左)荻原さん(右) (←)原料の大豆はもちろん国産大豆。中でも埼玉県産の在来大豆を積極的に取り入れています

いわけですから、それならもっとかんたんに、子どもたちに安心して食べてもらうもの。簡単にたべられる一品になるもの、というも提供していかなくちゃいけない時代ということだと思うんです」

そんな若い人たちに人気の「越生美人」は、埼玉県の在来品種・白光(はっこう)と箕田在来(みたざいらい)を使ったユニークなお豆腐。パックの中、豆乳にお豆腐が浮かんでいます。お豆腐を食べた後の豆乳に、についているお醤油(お隣、坂戸町の弓削多醤油さん)をたらして、ごはんにかけていただく「豆乳かけごはん」がオススメ。これなら卵がダメな人でも大丈夫ですね。

良いものを大切に食べることができるのは、とても幸せなこと。それはていねいな生き方や暮らしにつながっています。子どもがいて、包丁をたたく音がするお台所。かつお節のふわっとした香りや、お味噌汁から立ち上る湯気……。理想かもしれないけれど、そんなていねいな、手づくりの風景を大切にしたいと話します。



3.11 見えない風景

小原一真写真展 開催のご報告



11月16日、東京青梅市のギャラリー・蘭蔵(まゆぐら)とポラン広場東京の共同企画で実現した「小原一真写真展 3.11 見えない風景」の取材報告会が開催されました。

■映像と言葉が伝える悲劇

小原一真さんご本人と、元東京電力社員・吉川彰浩さんによるトークショーという形式で、3.11東日本大震災の被災地や原発作業員の方々、放射能汚染地域を収めたスライド写真を交えて、現地の実情が報告されました。サラリーマンだった小原さんは、3.11の震災を機に退職し、岩手県南三陸町をはじめとした被災地域の状況の記録を開始しました。2011年8月には、メディアも含め立ち入りが厳しく制限されていた福島第一原発と周辺の放射能汚染区域に入り、その異様な、悲しむべき実態を、数多くファインダーに収めています。吉川さんは、福島第一原発で2012年6月まで復旧活動に携わり、現在はフリーランスとして

作業員や被災者の立場から福島原発の実情を伝える活動をしています。11月からは、過酷な労働環境の中で懸命に復旧活動続ける福島第一原発の作業員を冬の寒さから守ろうと、防寒用品を送る活動を開始しました。

■事故後の「見えない風景」

「僕が初めて出会った現場の作業員は、事故で仕事を失い、やむを得ず原発の仕事を請け負った原発事故の被害者でした」
現地作業員の方々が抱える様々な背景、避難先で被災者の子どもたちがいじめられることや、父が原発作業員だけで差別される人、今になってばたばたと死に始めた馬、室内の砂場で遊ぶ子どもたち……。
原発事故が、人の心を蝕んで、人との結びつきを破壊している。事故から2年半を経過して、何も変わっていない現実。お二人のお話からは、マスメディアが決して伝えない「見えない風景」が横たわっていることを教えていただくことができました。

ごあんない

稲澤美穂子 日本画展 **巍巍** 《GIGI》

ポラン広場東京のカレンダーイラスト作品でおなじみ、稲澤美穂子さんから個展のご案内が届きました。ぜひお立ち寄りください！

日時 12/19(木)～12/25(水)

場所 Gallery Concept 21(ギャラリー・コンセプト21)

東京都港区北青山3-15-16

※詳しくは、稲澤デザイン室のWEBサイトをどうぞ！ <http://www.ina-djp/>

オーガニックショーに集まろう！

視点【その7】



オーガニックの姿を考えると、悩みながら、賢くセレクトして、暮らし方生き方として高めていった消費者の皆さんが多くいらっしゃる。すると、現在のオーガニックが抱え込んでしまった矛盾は、やはりつくり手の問題なのかもしれません。そんな点からも、いまいちど、自分の立っているところを検証したいと思います。

私たちは、当初から変わらないものを大切にしていこうと思っているんです。たとえば、TPPで関税が撤廃されて、仮にカルフォルニアの米が、5kg1500円とかで入ってきますよね、あなたならどうしますか？ どのものであろうが安ければそれでいい、というなら、私たちはその人とは話ができない、それだけです。

私たちは、そういうものは食べません。安く並んでいても、いらぬものはいらぬ。自分の必要なものを、対価を支払って購入します、という

こと。これまでも、これから、私たちのライフスタイルは何も変わらないんです。日本にあるものをわざわざ外から持ち込むことはないですね。そこをどうネットワークできるでしょうか？ あ、君もそうだったんですね、握手！ そういう考え方を持っている人がいれば、出会う。

今度のオーガニックショーでは、こういうことを加味して、これまでオーガニックをやってきた土壌のなかで、世界的にも同期をとれているオーガニック……みなが豊かなんだと、その普遍性をかみしめて、問い直しをしてもいい。これを町の人たちみんなまで味わって、確認する。そして問題を解決したいんです。オーガニックの本来の価値とは何でしょう？ オーガニックにはホリスティックな、全体を包み込む力がある。ただつくるだけじゃない、ただ流通するだけじゃない、ただ消費するだけじゃない。食べてる人はどんな考えで食べてるんですか、つくってるひとはどんな考えで、流通してるひとはどんな考えで、って。そんなことを話しても良んじゃないでしょうか。(了)

(代表理事・神足義博)

事務局からのお知らせ

活動予定

- 12月7日(土)・8日(日) アースガーデン“Xmas”～ファーマーズガーデン@代々木公園
- 12月14日(土) さよなら原発 エネルギーギフトウォーキング(9) 福生市～羽村市 http://www.polano.org/11_networking/130413_walking.html

決定! オーガニックショー
ポラン広場東京
2014

日程と会場が決まりました!

と き: 2014年2月22日(土)
ところ: 中野サンプラザ8階

活動短報

11月

- 8～17 小原一真写真展「3.11 見えない風景」@Dining & Gallery 蘭蔵 開催
- 9 さよなら原発 エネルギーギフトウォーキング(8) 羽村市～福生市 開催
- 10 NPO法人TEAM二本松(福島県二本松市)「青空市場」に義援物品をお届け
- 20 NPO法人TEAM二本松(福島県二本松市)「青空市場」に義援物品をお届け

じむきよく NOTE



10月に渋谷区・代々木公園で開催が予定されていたアースガーデン“秋”が、台風27号・28号接近のため、急遽中止になりました。これで年内のファーマーズガーデンの企画・出店は無理かと思っていましたが、主催者の尽力により12月にアースガーデン“Xmas”の開催が決まり、来年1月に予定されていたアースガーデン“冬”

と共に、振替出店が可能となりました。残念ながら全出店者の振替参加は叶いませんが、生産・製造者と消費者の方々が直接交流できる有意義な場にしたいと思います。合わせて、オーガニックショー ポラン広場東京 2014の告知も行います。ご都合のつく方は、ぜひ会場にお越しください。お待ちしております(桑畑)

NPO法人ポラン広場東京
ネットワークングニューズレター

12月号

2013年12月1日発行
(毎月1日発行)

特定非営利活動法人 ポラン広場東京
〒198-0052 東京都青梅市長瀬4-393-11
TEL: 0428-22-6821 FAX: 0428-25-1880
E-mail: office@polano.org